



都跡公民館だより
12月号

発行：(公財) 奈良市生涯学習財団
都跡公民館
〒630-8032 奈良市五条町 204-1
TEL / FAX : 0742(34)5954
https://manabunara.jp/
miato@manabunara.jp

講座案内

無料

みあと子育て広場

おおむね0～3歳児と保護者のための
子育て広場です。みんなで楽しく
過ごす育児タイム♪ (申込不要です)

12月20日(水) 10～12時

クリスマス会



ミュージックケア & 絵本の時間

講師 ♪メロディー・アリサ♪
協力 都跡公民館図書ボランティア (ほのぼの)
サンタさん・トナカイさん

1月17日(水) 10～12時

にこにこプログラム



手遊び、季節の歌、絵本、音楽にあわせて
歌ったり踊ったり、楽しく遊びます
協力 地域ボランティアにこにこ会 (にこにこ)

※各プログラムは10時20分頃～1時間程度
終了後は、フリー交流スペース(昼食可)

かいそうほう
要申込 回想法でこころほっこり

☆回想法は1960年代ロバート・パトラー(アメリカ
の精神科医)によって提唱されたもので、高齢者が
思い出を語ることで脳を活性化させて、未来に向か
って前向きな気持ちをもたらす心理療法です。

思い出を楽しく語り合いましょう♪

令和5年 12月22日 金曜日
13時30分～15時

会場 奈良市立都跡公民館
費用 無料 ※長寿健康ポイント対象
対象・定員 市内在住・在勤・在学の65歳以上12人
聞き手 回想法me at memory
(都跡公民館自主グループ)
申込方法 前日までに都跡公民館窓口または電話で

なかよし文庫



12月16日(土)、1月20日(土)
いずれも10時～15時30分 図書室にて
都跡公民館図書ボランティアによる本の紹介
・貸出、絵本の時間等
(10時30分～11時30分)
お子様といっしょに
気軽にお立ち寄り
ください。



移動図書館が

やって来ま～す!

13:45～14:30
12月20日(水)
1月24日(水)



要申込 都跡ふれあい散策
～平城宮跡の野鳥観察会



冬の平城宮跡歴史公園の野鳥を観察します。
1月25日(木) 9時～12時
※現地集合・現地解散

都跡中学校区在住・在勤・在学の成人20人
案内 日本野鳥の会 奈良支部
申込締切 1月16日(火) 必着
共催 都跡公民館自主グループ連絡協議会

申込方法 ※申込多数の場合抽選となります。

- ①往復はがきに 講座名、住所、氏名、年齢、電話番号を
記入の上、都跡公民館
〔〒630-8032 奈良市五条町 204-1〕まで郵送。
②奈良市生涯学習財団ホームページ「参加申込フォーム」より
③窓口でのお申込みの際は、返信用のはがき(63円)をお持ちください。

主催：回想法 me at memory
思い出語りサロン わくわく
12月15日(金) 13時30分～15時頃
都跡公民館にて 申込不要



【予告】 **都跡で望む山焼き** (都跡公民館 2階からの鑑賞会)

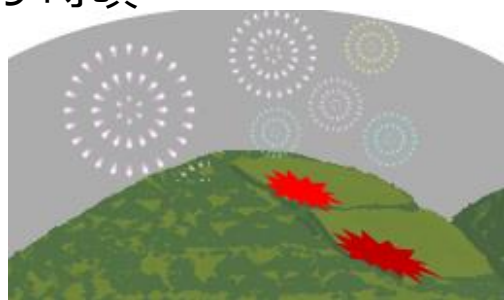
令和6年1月27日(土) 9時~19時頃

9時~16時 作品展示、茶席など

17時~ 夕暮れ和楽コンサート

都跡公民館ヒストリア

18時15分~ 山焼き行事



ふるさと「都跡」の宝

かわべりゆうこう

『河邊隆光』つてご存知ですか?

その八

ちようしやうじ

故郷「大和国超昇寺村」へ

一 地位を追われて

一七〇九(宝永六)年という年は、かねて隆光が大仏殿落慶の年と決め、三月末から四月初旬にかけて儀式を準備していた年であった。その直前の一月の綱吉の死で、落慶は予定通りに行うことになりはしたものの、その中心人物であるべき隆光は、大僧正という地位を追われ、閉門に近い扱いを受け、儀式に参列できず江戸で謹慎、そして三か月後には大和国超昇寺村に還えされる運命となるのです。

帰ってくる隆光を奈良の北の入り口「木津」で迎えられたのは数人という寂しさであったと言います。

二 闇に消される

このように、大仏殿の実質の復興の功労者でありながら、隆光の名は歴史の闇に沈んでしまう。いや闇の中に消し去られてしまうのです。それは五代將軍綱吉の死によって世の中が一変し、旧体制の崩壊の中で幕政の要人であった隆光は物事の善悪とは別の次元で世の中から抹殺され、その栄光も事蹟も剥奪されてしまい悪名だけを背負わされて闇に葬られてしまうのです。

三 超昇寺の再建の地

寂しく故郷超昇寺村に帰った隆光は、出郷の場所を変え再建されていた超昇寺に住まわれるのです。再建の地は、現在の地で言う旧佐紀幼稚園の地で、東を望めば、東大寺大仏殿の屋根が今も望めます。隆光さんは、どんな思いで毎日、東を臨まれておられたのでしょうか。

また、復興の超昇寺は、真如親王の寺と比べれば、たかだか一町歩に満たない小さな地でしたが、それしか許されなかつた幕府の厳しい姿勢が判ろうと言つたものです。

幸いなことに、その超昇寺の仏像などは河邊家に保存されている史料から、ある程度推測することができるようです。

(ふるさと「都跡」を語ろう会 溝邊文昭)



旧佐紀幼稚園(現 奈良市フードバンクセンター)からみえる「隆光大僧正墓」

ふるさと「都跡」を語ろう会
活動は、原則毎月第1火曜午後から
<http://miato.seesaa.net/>



奈良市生涯学習支援サイト <https://manabunara.jp>
講座情報などを掲載している都跡公民館のページを見てね!